倉敷市（令和２年作成）
洪水・土砂災害ハザードマップ
倉敷地区（北部）

倉敷市洪水・土砂災害ハザードマップについて

令和２年作成

このマップには、洪水・土砂災害に備えるための次の情報が載っています。

■避難場所　■想定される浸水の範囲と深さ　■土砂災害のおそれのある場所　■平成16年の高潮被害範囲

・洪水時には浸水想定区域内の避難所は使用できなくなりますので、市の防災情報や避難情報に従って避難するとともに、日頃から地形等を確認し、安全な避難に役立ててください。
・必ずしもこのマップのとおりの被害が発生するわけではなく、表示のない場所でも被害が発生するかもしれませんので、十分ご注意ください。

■浸水想定区域について

「浸水想定区域」は、下記の河川で堤防が決壊した時の「浸水区域・深さ」を表示したもので、複数の決壊地点を想定して計算し、重ね合わせた「浸水区域・深さ」を表示しています。なお、決壊時に想定している降雨の確率、雨量は下表のとおりです。

河　川	想定している降雨の確率
1. 高梁川水系：高梁川	150年に1回程度の確率（2日間で248mmの降雨）
2. 高梁川水系：小田川	100年に1回程度の確率（2日間で225mmの降雨）
3. 倉敷川水系	100年に1回程度の確率（24時間で181mmの降雨）
4. 里見川水系	70年に1回程度の確率（24時間で198mmの降雨）
5. 笹ケ瀬川水系	100年に1回程度の確率（24時間で189mmの降雨）

■土砂災害のおそれのある場所について

1. 国土交通省が定めた基準に基づいて、下記の危険箇所を表示しています。
また、「土砂災害警戒区域」「土砂災害特別警戒区域」の指定があった場所は、この区域を表示しています。
・「急傾斜地崩壊危険箇所」（がけ崩れのおそれのある場所）
・「土石流危険渓流（氾濫想定範囲）」（土石流被害のおそれのある場所）
・「地すべり危険箇所」（地すべりのおそれのある場所）

2. 林野庁が定めた基準に基づいて、下記の危険地区を表示しています。
・山地災害危険地区（山腹の崩壊や土石流のおそれのある場所）

避難に関する情報について

市では、災害により被害が発生するおそれがある場合、状況に応じて避難に関する情報を発令します。
周辺の様子により早めに避難するように心がけましょう。

■情報の種類とみなさんのとるべき行動

●警戒レベルと避難情報等

警戒レベル	状況	避難情報等	とるべき行動
5	災害発生または切迫	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保※1	命の危険 直ちに安全確保！
	～～～